

高知県商工団体連合会 NO.761(48-41)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

地方別活動交流会(6/17・18)にむけて拡大運動に取り組んでいます

■交流会にむけた拡大状況(4/16現在)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	1	0	0	0	0	1
南国	3	0	0	1	0	3
高知	1	1	1	0	0	0
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	0	0	0	0	0	0
中村	1	0	0	0	0	1
計	6	1	1	1	0	5

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)



春の運動が終わって一息つく間もなく、「第3回地方別活動交流会」にむけて、全国で拡大運動が始まりました。

高知県連の第1次目標は、読者、会員、共済、婦人、青年で前回の全国総会の現勢を突破することです。

4月18日には、拡大推進委員会を開催し、春の運動の読者拡大で全国3位だった奮闘と教訓を交流・討議し、交流会にむけて、「前回現勢の突破、さらには交流会顕彰基準に挑戦しよう」と意思統一しました。

前回現勢突破には、読者133人、会員65人、共済58人、婦人16人、青年2人と、大きな目標にはなりますが、多くの会員の参加で拡大運動をすすめる、役員を交流会に送り出しましょう。

4年ぶりの企画 申告お疲れ 昼食会

4月9日(日)、仁淀川民商の申告お疲れ昼食会が開催されました。

朝から久々の青空が見えて気分も晴やか、暖かい春の陽気です。

会場の三陽荘に着いて、座敷に入ると大きな窓からは外の山が見えました。春風に舞う葉がなんだかきれいでしたよ。

上岡会長の挨拶で食事会がはじまり、おのおのお話で盛り上がりつつ、食事を楽しまれました。私は小学生の娘と年長の息子を連れて参加させてもらいました。豪華な食事を前に、「お昼からお刺身に海老天ぶら！好きなものがいっぱい！」と喜んでいました。途中簡単な自己紹介をして、今回はビンゴゲームもしてみましたよ。

数日前から事務所では、参加してくれるみなさんに少しでも・という事で、参加ありがとう的な少しばかりの品を用意してました。ただ、ビンゴゲームは初めてだったので、少々もたついてしまいましたが、お付き合いいただきありがとうございます。

上岡会長のお話では、仁淀川民商の今回のような懇親会は4年ぶりだそうです。



す。今回は17名の方が参加してくれました。私は2月から民商で働かせてもらっています。会員さんのお名前とお顔が一致しない方がまだたくさんいます。昼食会では、会ったことのない会員さんとも会えて、会員さん同士で情報交換をしたり、お酒も入って楽しんで笑うお顔を拝見できました。人と人がつながっているのは素敵なことだなと改めて思いました。午後2時、最後に集合写真をとって昼食会はお開きになりました。2次会はカラオケ喫茶イエスでという呼びかけに、行く！行く！と楽しそう。おいしい贅料時間とわいわいと楽しい疲れを少しはねぎらえたかな？

憲法施行70周年 県民のつどい

5月3日(水・祝)14時~16時30分
県民文化ホール・グリーン
参加費 1000円
(大学・高校生500円)
講演 現在の政治情勢と市民と野党の共同が目指すべきもの
講師 山口二郎さん(法政大学教授)
※託児所あり(要事前予約)

連休中の高商連事務局の業務

5月1日(月)
・メーデー参加のため事務所は不在
5月2日(火)
・通常業務
5月3日(水)~7日(日)
・休み
長期休暇になりますので、連絡・相談等は早めをお願いします。

民商会員が中心になった企業共同体が開催し11回目

四万十川に愛誓う

四万十市 3組が船上結婚式



屋形船の中で笑顔いっぱい3組のカップル(四万十市佐田)

【幡多】四万十市の(28)、香織さん(30)▽四万十川で10日、恒例の船上結婚式が行われ、県内外の3カップルが清流に永遠の愛を誓った。

式を挙げたのは、四万十市在住の谷吉勇太さん(31)、梢さん(28)▽同市の税所伊織さん(30)の3夫妻。

あいにくの雨にもかかわらず、3組は「やっぱり四万十川は最高の場所だ」と幸せいっぱいの表情で話し、佐田沈下橋で屋形船に乗船。上流の三里沈下橋まで約1時間かけて往復する船内で、誓いの言葉と指輪を交わした。

例年行われる三里沈下橋でのフラワーシャワーやパレードは雨のため中止となったが、駆け付けた友人らが大きな拍手で祝福した。カヌーなどのガイドをしている谷吉勇太さんは「毎日、四万十川に来ているが、今日は川の景色がいつもとは違った。これからは夫婦円満に仲良く過ごしたい」と笑顔で話していた。

船上結婚式は、屋形船業者や衣装店などをつくる「四万十D&H」が毎年、「四万十の日」に行っている。13回目の今年は38組の応募があり、四万十川への思いなどから3組を選んだ。(山崎友裕)